定量報告

地域密着型金融推進計画と進捗状況【平成２２年４月～平成２３年３月】

定量情報　監督指針に基づく開示要請項目	当庫が目標とする経営指標等（計数計画）	平成 23 年 3 月までの進捗状況
①経営改善支援取組み率 経営改善支援取組み先数（正常先除く）÷期初債務者数（正常先除く） （「経営改善支援取組先数」＝「期初債務者のうち、既に経営改善支援に取り組んでいる先」＋「当該期中に新たに再生計画を策定した先」）	**①経営改善支援取組先数（年間 115 先以上）** **②経営指標分析資料の還元件数（年間 1000 件以上）**	①別紙参照 ②1,200 件(財務分析総合表　771 件) (財務分析一覧表等　429 件)
②再生計画策定率 再生計画策定先数（正常先除く）÷経営改善支援取組み先数（正常先除く） （「再生計画策定先数」＝「中小再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCC の支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」）	**③事業再生について外部機関との連携先数（年間3先以上）**	愛知県信用保証協会による経営診断を 3 先、愛知県の「ものづくり中小企業生産管理支援事業」を活用した専門家派遣を 2 先、「しんきん環境事業イノベーション寄附講座」を活用した専門家派遣を 1 先の計 6 先に対して実施しました。
③ランクアップ率 ランクアップ先数（正常先除く）÷経営改善支援取組み先数（正常先除く） （「ランクアップ先数」＝当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載）	**④ランクアップ先数（年間 10 先以上）**	別紙参照
④創業・新事業支援融資実績 創業・新事業支援融資実績（**件数・金額**） （「創業・新事業支援融資実績」＝「専用商品実績」＋「プロパー融資のうち資金使途が創業・新事業支援のもの」（実績把握が可能な場合））	**⑤創業・新事業支援融資先数（年間 30 先以上）**	38 先を実行しました。
	⑥中小企業施策等認定先数（年間 20 先以上）	経営革新認定先数　6 先 地域資源認定先数　1 先 計 7 先の認定を受けました。
⑤個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資への取組みの計数 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績（**件数・金額**） （「個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資」とは「動産・債権譲渡担保融資」、「財務制限条項活用融資」等、各金融機関が重点的に取組んでいる項目に関する計数を選択して開示する）	**⑦売掛債権担保融資、ＡＢＬ、にししん機械担保ローン等の取扱件数** **（年間 5 先以上）**	1 先 3 件実行しました。

経営改善支援の取組み実績進捗状況

【平成22年4月～平成23年3月】

（単位：先数）

		期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み先　α	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数　β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先　γ	αのうち再生計画を策定した先数　δ	経営改善支援取組み率 ＝α/A	ランクアップ率 ＝β/α	再生計画策定率 ＝δ/α
正常先　①		4,868	0		0	0	0.00%		0.00%
要注意先	うちその他要注意先　②	634	109	2	107	109	17.19%	1.83%	100.00%
要注意先	うち要管理先　③	3	2	0	2	2	66.67%	0.00%	100.00%
破綻懸念先　④		68	4	0	4	4	5.88%	0.00%	100.00%
実質破綻先　⑤		40							
破綻先　⑥		11							
小　計（②～⑥の計）		756	115	2	113	115	15.21%	1.74%	100.00%
合　計		5,624	115	2	113	115	2.04%	1.74%	100.00%

定性報告

【平成 22 年度　地域密着型金融推進計画】

項　目	具体的取組み策	平成 23 年 3 月までの進捗状況
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化		
創業・新事業支援	(1)創業支援、新事業支援融資の推進	・創業・新事業支援融資として、本年度は 38 先 1,816 百万円を実行しました。
	(2)中小企業基盤整備機構、営業エリア内の商工会議所・商工会等の地域支援機関と連携を強化し、経営革新計画、地域資源活用プログラム、農商工連携等の中小企業支援施策の認定取得を支援 ＊「地域資源活用プログラム」とは、地域資源を活用した新事業に進出する中小企業に対し、補助金等の優遇措置を講ずる国の支援制度です。 ＊「農商工連携」とは、農林漁業者と連携して新事業に取り組む中小企業に対し、補助金等の優遇措置を講ずる国の支援制度です。	・「経営革新計画」の認定を、当庫取引先の 6 社が受けました。認定に当たり、当庫はニーズの把握から申請書作成支援までトータルにサポートしました。 ・「地域資源活用プログラム」につきましては、当庫取引先の 1 社が認定を受けました。 《認定概要》 製茶業を営む当庫取引先が、用途拡大可能な超微粉抹茶を開発したため、中小機構の専門家と共同で、経営計画の立案や申請書作成等のサポートを行い、平成 23 年 2 月に認定取得しました。
経営改善支援	(1)ビジネスマッチング支援 ①課題解決支援に向けてビジネスマッチング情報の収集及び活用体制を強化 ②取引先による各種ビジネスフェアへの出展、参加の推進	① ・ビジネスマッチング情報を登録する庫内情報システムに加え、本年度から同システムへの新規情報登録 1 件ごとに別途事務連絡を発出するなど、庫内情報の共有を強化する体制を整備しました。 本年度の情報登録件数　…85 件 本年度のビジネスマッチング実績　…92 件 ② ・10 月 15 日のしんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道　2010」に、当庫取引先 1 社が出展しました。 ・10 月 22～23 日の第 6 回「かわしんビジネス交流会」に、当庫取引先 1 社が出展しました。 ・11 月 5 日の第 6 回「しんきんビジネスフェア 2010」に、当庫取引先 19 社出展しました。また、個別商談会に発注希望 1 社・受注希望企業 3 社が参加しました。
	(2)経営改善に取組む取引先企業に対する改善計画の策定及び改善に向けた取組みへの支援 ①重点課題の解決に主眼を置いた、定期的な改善計画の進捗状況把握による支援強化 ②財務分析等の経営指標分析資料の還元件数の増加 ③経営課題を解決するための有用な情報（中小企業支援施策ほか）の提供	① ・支援先として前年度からの継続先 66 先を含む 115 先を選定し、経営改善活動に対する支援を実施しました。 ② ・経営指標分析資料は、財務分析総合表を 771 先、財務分析一覧表を 429 先還元しました。 ③ ・中小企業支援施策の活用による課題解決支援に積極的に取組み、企業支援室が各関係機関等からの情報収集に取組むと共に、庫内情報システムを活用し各営業店との情報共有を図る体制を整備しました。 ・中小企業支援施策は 106 件の情報を収集・システムへ登録すると共に、延べ 654 先のお客さまに情報提供等を実施しました。
事業再生	(1)経営改善支援取組先に対する中小企業診断士協会・中小企業再生支援協議会等の外部機関と連携した再生計画の策定や事業再生の検討	・愛知県信用保証協会の経営診断として、中小企業診断協会と連携し、3 社に実施しました。 ・愛知県が行う専門家派遣制度である、「ものづくり生産管理支援事業」につき、当庫取引先の 2 社が認定を受けました。現在専門家の指導を受けています。 ・「しんきん環境事業イノベーション寄附講座」を活用した専門家派遣を、1 社が受け入れました。
事業承継	(1)事業承継支援	・相談案件はありませんでした。
	(2)M＆A情報の積極展開	・M&A の提案や専門家の紹介等によるサポートに取組み、11 月に当庫取引先間で 1 件成約となりました。

項　目	具体的取組み策	平成 23 年 3 月までの進捗状況
経営相談	(1)企業人材の育成を目的とした「にししん経営塾21会員(インターネット会員を含む)」の継続的募集	・「にししん経営塾 21」を、本年度は刈谷地区の経営者を主な対象先として開催、36 名が受講しました。なお、2 月には、県外優良企業視察を行いました。
	(2)お客さまの多様なニーズに応じた各種セミナー・講演会等の開催	・中小企業のお客さまを対象とした各種セミナーを 6 回開催しました。 7 月 28 日　今後の中国進出に関する注意点等に関するセミナー 10 月 20 日　企業の経営課題支援のための個別相談会 1 月 21 日　今年の経済展望等に関するセミナー　等 ・地元の各種団体が主催する講演会・勉強会に、3 回の講師派遣を行いました。 7 月 28 日　西尾商工会議所主催講演会　「うちのいいところ～知的資産の活かし方」 1 月 20 日　西尾市鋳物組合「清風会」主催勉強会　「ものづくり高度化支援事業について」 3 月 3 日　一色ロータリークラブ主催講演会　「地域密着型金融の取組について」
2.事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
担保・保証に過度に依存しない融資の推進	(1)売掛債権担保融資、ABL、にししん機械担保ローン等の取扱推進	・流動資産担保融資について、本年度は 1 先 3 件、53 百万円取組みました。
中小企業に適した資金供給手法の徹底	(1)私募債の推進	・私募債について、本年度は 4 先 430 百万円を取組みました。(うちECO私募債 3 先 380 百万円)
	(2)コベナンツを適正に活用したシンジケート・ローンの取扱推進	・シンジケート・ローンは貸付人として参加し、本年度は 1 先を取組みました。
3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
顧客ニーズを反映させた商品開発等	(1)地球環境、経済環境等を重視した商品の開発	・地球環境保全と経済活性化を促進するための融資商品として、「ECOカーローン」(ハイブリット車等エコカー購入資金の支援)、「ECOリフォームローン」(オール電化、太陽光発電システム等導入資金の支援)、「愛知県産材使用住宅ローン」(地産地消と税制優遇を付加し環境への負荷の低減を図る“長期優良住宅”の普及促進の支援)　の3商品を発売し、3 商品合計で 236 件販売することができました。 ・愛知県内唯一の天然湖沼である『油ヶ淵』の水質浄化を応援するため、「油ヶ淵水質浄化応援定期預金」を販売しました。期間中に 3,300 百万円を販売し、販売総額の 0.01% にあたる 33 万円を油ヶ淵水質浄化促進協議会(愛知県・碧南市・安城市・西尾市・高浜市)に寄付しました。
	(2)顧客ニーズに則した預り資産商品の提供	・保険商品は、リスクが比較的少ない定額個人年金のニーズが高く、総販売額の 74%を占めました。 ・投資信託は、外国債券に投資し毎月決算が行われる商品のニーズが引き続き高く、総販売額の 65%を占めました。
	(3)休日無料相談会、資産運用セミナーの開催	・年金相談・ローン相談・資産運用相談等のための休日無料相談会を、4 店舗で延べ 58 回開催しました。また別途投資信託の資産運用セミナーを、1 回開催しました。 ・確定申告時期を控えたお客さま向けに、無料税務相談会を 4 店舗で延べ4回開催しました。 ・中小企業者の金融円滑化や住宅ローンの返済方法見直し等の相談に対応するため、全店舗に相談窓口を設置しました。また 7 月と 12 月には、土曜日にも相談窓口を開設しました。(7月…4 店舗　延べ 12 回、12 月…4 店舗　延べ 16 回)
金融経済教育への取組み	(1) 金融教育の実施	・地域の小・中学校、高等学校に対し、以下の通り職場体験学習を実施しました。 5 月 11 日　鶴城丘高等学校　8 名 ｼﾞｮﾌﾞｼｬﾄﾞｳ 6 月 3 日　安城南高等学校　2 名 職場見学 10 月 20 日～21 日　鶴城中学校　8 名 職場体験学習 ・小学生向け金融教育を以下のとおり実施しました。 10 月 14 日　寺津小学校 6 年生 70 名 11 月 2 日　米津小学校 6 年生 63 名

項　目	具体的取組み策	平成 23 年 3 月までの進捗状況
	(2) 経済教育の実施	・「西三河ハイスクール・起業家コンテスト 2010」を開催しました。 ＜概要＞ ・参加高校　：　専門学科がある近隣 10 高校 ※上記各校につき 2 チームずつ、計 20 チームが参加 ・実施期間　：平成 22 年 6 月 1 日(火)～11 月 30 日(火) ・審査発表会：平成 23 年 1 月 29 日 ・審査方法　：名古屋大学・家森教授を委員長とする 5 名の審査員が、事前提出書類及び当日プレゼン発表の内容をもとに、優れたチームを表彰 ・審査結果　：最優秀賞 安城農林高校　もみ殻堆肥研究チーム 「農業資材の開発と普及に関する研究」 ※馬糞を材料とするポットの開発